

# 一般検査 フォトサーベイ

大分県臨床衛生検査技師会  
一般検査研究班 班長 山下 広光

# 参加状況

(過去5回の参加施設数推移)

	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回
参加施設数	78	90	91	82	87

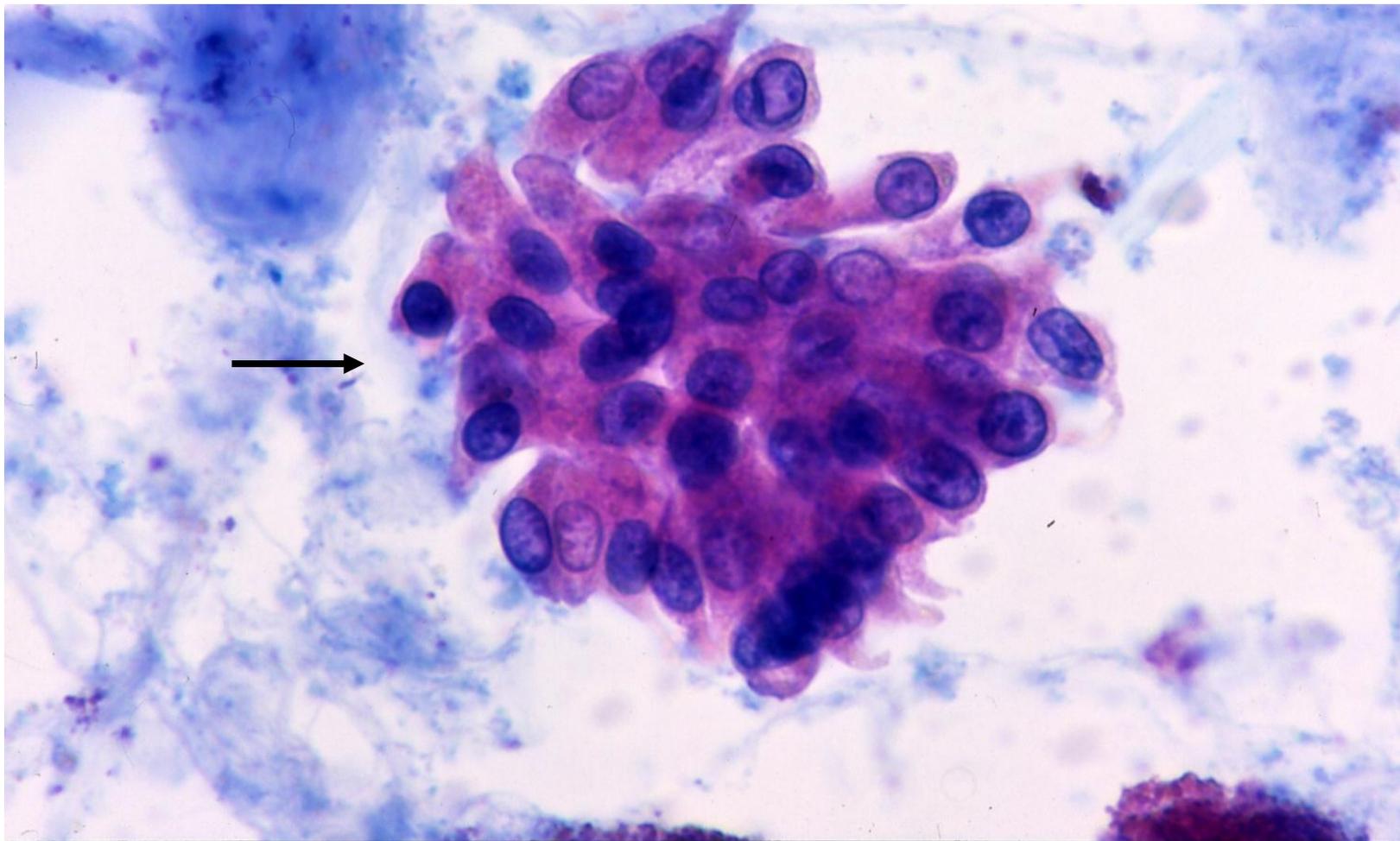
設問. 1 (尿コードから選んでください)

症例：83歳 男性 腎不全にて加療中

検体：カテーテル尿

検査所見：PH6. 0、蛋白(3+)、糖(-)、潜血(2+)

写真：S染色 400倍



設問1 回答結果解析	回答	回答数(施設数87)	回答率(%)
◎005	移行上皮細胞	53	60.9
7	円柱上皮細胞	21	24.1
13	異型細胞	8	9.2
6	尿細管上皮細胞	3	3.4
11	核内封入体細胞	2	2.3

**正 解：移行上皮細胞 (005) 正解率：60.9%**

**解 説：**N/C比小、細胞辺縁明瞭、核の大小不同、異型に乏しい細胞集塊が認められる。

このような集塊は、尿路の炎症あるいは結石などの場合やカテーテル尿、カテーテル挿入後の尿中に出現することがある。

検体がカテーテル尿である事と細胞異型に乏しいことにより移行上皮細胞と判定する。

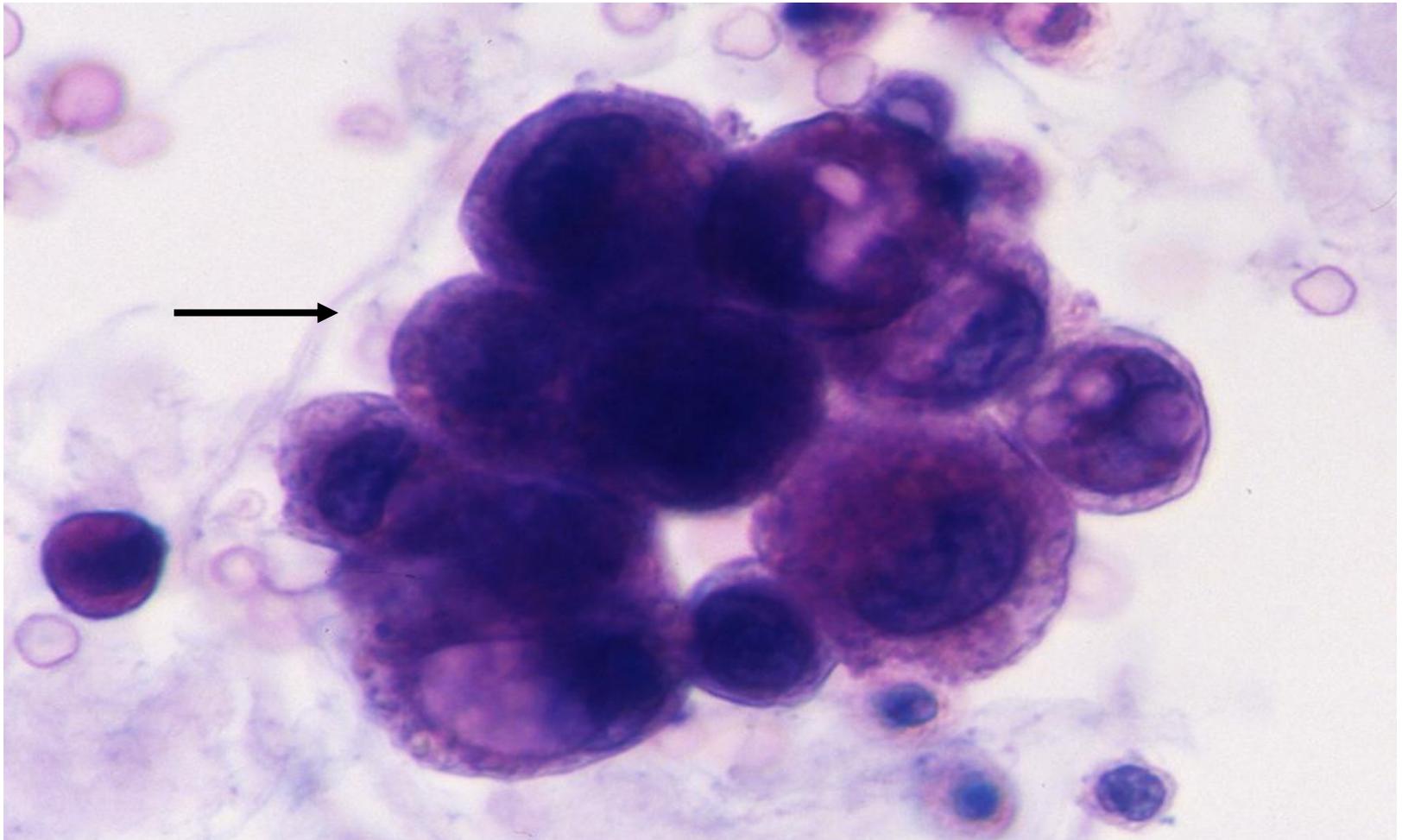
## 設問. 2 (尿コードから選んでください)

症例：68歳 女性 血尿に来院

検体：自然尿

検査所見：PH7.0 蛋白(2+)、糖(-)、潜血(3+)

写真：S染色 400倍



設問2 回答結果解析	回答	回答数(施設数87)	回答率(%)
◎013	異型細胞	71	81.6
	11 核内封入体細胞	6	6.9
	12 大食細胞(マクロファージ)	4	4.6
	10 細胞質内封入体細胞	3	3.4
	5 移行上皮細胞	2	2.3
	14 分類不能細胞	1	1.1

**正 解：異型細胞(013) 正解率：81.6%**

**解 説：**尿沈渣検査において、異型細胞として取り扱う細胞は、基本的には悪性細胞または悪性を疑う細胞とする。

また悪性を疑う細胞のうち異形性は弱くても悪性の可能性を否定できない細胞をも異型細胞として報告する。

今回の標本にはクロマチン増量、N/C比大、核の大小不同のある細胞を認めます。

この症例は尿路上皮癌（移行上皮癌）でした。

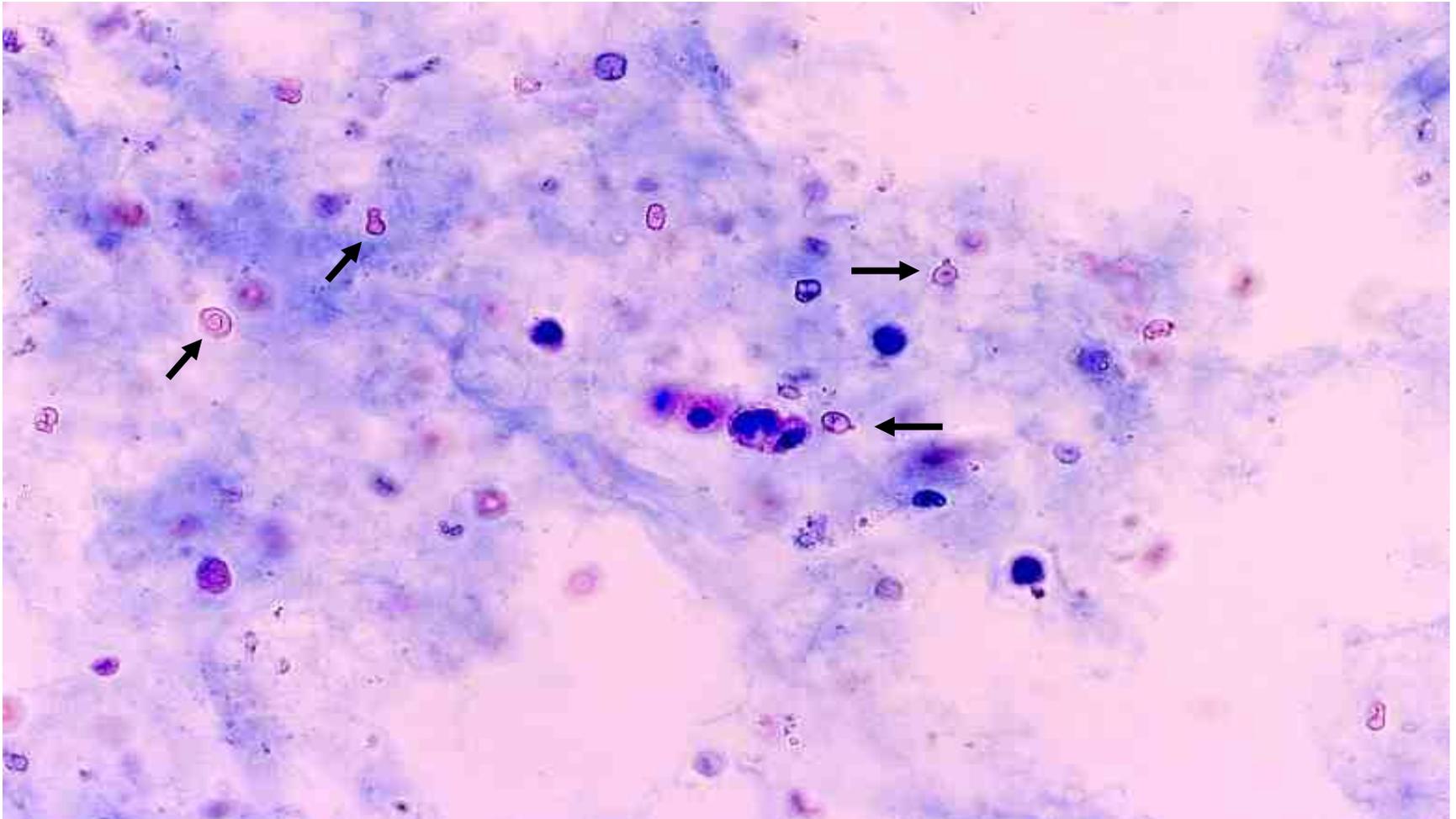
### 設問. 3 (尿コードから選んでください)

症例：77歳 女性 全身倦怠感にて来院

検体：自然尿

検査所見：PH6.0 蛋白(3+)、糖(-)、潜血(2+)

写真：S染色 200倍



設問3 回答結果解析	回答	回答数(施設数87)	回答率(%)
◎002	変形赤血球	70	80.5
1	赤血球	11	12.6
201	シュウ酸Ca結晶	3	3.4
302	真菌	3	3.4

**正 解：変形赤血球（002） 正解率：80.5%**

**解 説：**糸球体性腎炎などによる糸球体性血尿の赤血球は、写真のごとく、こぶ状、ドーナツ状などの多彩な形態を示す赤血球が認められる。

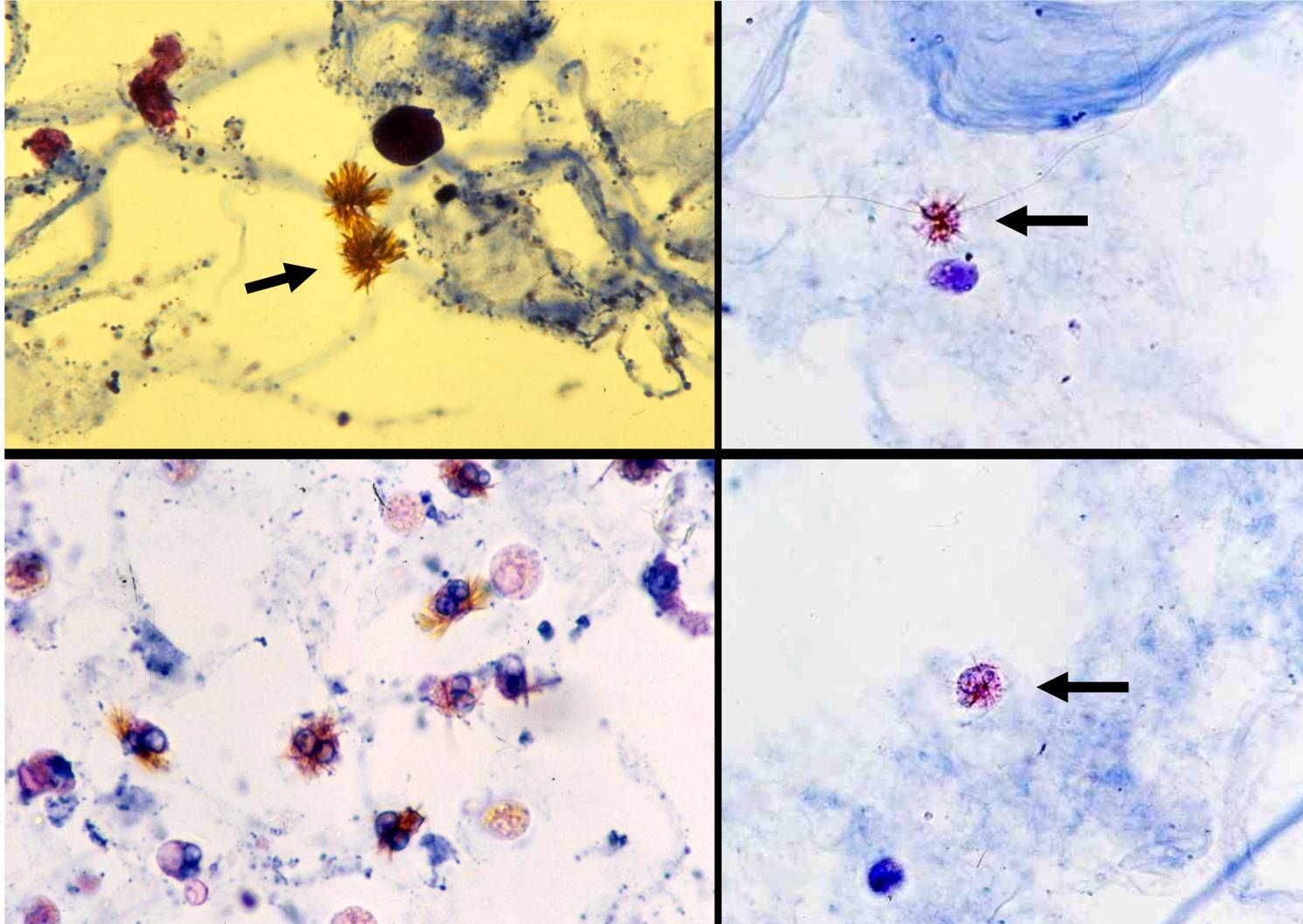
## 設問. 4 (尿コードから選んでください)

症例：76歳 女性 黄疸を主訴に来院

検体：自然尿

検査所見：PH7.0 蛋白(+)、糖(-)、潜血(+)

写真：S染色 200倍



設問4 回答結果解析	回答	回答数(施設数87)	回答率(%)
◎213	ビリルビン結晶	85	97.7
210	チロシン結晶	2	2.3

**正 解：ビリルビン結晶 (213) 正解率：97.7%**

**解 説：**黄褐色の針状結晶で、白血球や上皮細胞に付着して認める場合がある。

ビリルビン陽性尿中にみられるが、陰性尿中にもみられる場合がある。

クロロホルム、アセトンで溶解する。

肝炎、胆道閉塞などの肝・胆道系疾患に出現する。

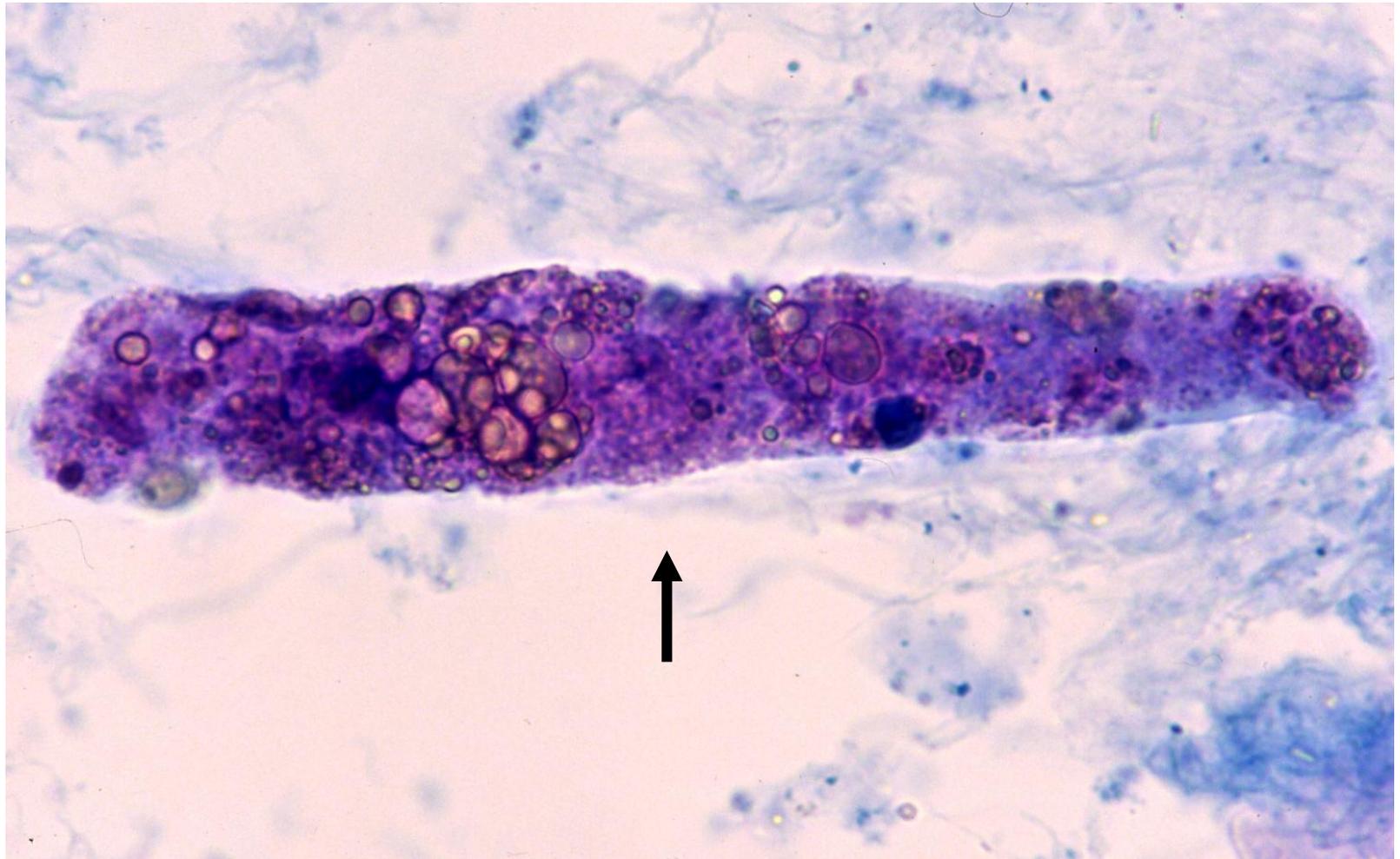
設問. 5 (尿コードから選んでください)

症例：73歳 男性 高血圧・糖尿病にて加療中

検体：自然尿

検査所見：PH6.0、蛋白(3+)、糖(3+)、潜血(+)

写真：S染色 400倍



設問5 回答結果解析	回答	回答数(施設数87)	回答率(%)
◎107	脂肪円柱	73	83.9
108	空胞変性円柱	9	10.3
105	顆粒円柱	3	3.4
8	脂肪顆粒細胞	1	1.1
102	赤血球円柱	1	1.1

## 正 解：脂肪円柱（107） 正解率：83.9%

解 説：基質内に脂肪顆粒および卵円形脂肪体が封入された円柱である。

脂肪顆粒が3個から円柱全体に隙間なく封入されているものまで種々のものがある。

また、多くの卵円形脂肪体は脂肪顆粒を3個以上多数含有しており、したがって卵円形脂肪体が1個封入された円柱も脂肪円柱に分類する。

脂肪円柱はネフローゼ症候群で高率に認められる。

設問. 6 (寄生虫コードから選んでください)

症例：10歳 男性 学童検診

検体：セロファンテープ法

検査所見：

写真：無染色 400倍



設問6 回答結果解析	回答	回答数(施設数87)	回答率(%)
◎504	ぎょう虫(卵)	86	98.9
406	混入物(花粉、便など)	1	1.1

**正 解：ぎょう虫(卵)(504) 正解率：98.9%**

解 説：左右対称のカキの種状。無色で卵殻は厚い。

ぎょう虫は他の寄生虫と異なり、産卵時に雌は寄生部位を離れて肛門外に出て、肛門周囲の皮膚上に産卵する。

## 《まとめ》

- 今回のサーベイ参加施設は前回とほぼ同じ87施設の参加でした。
- 設問1において、正解率が低く集塊で出現した細胞の判定に注意が必要と思われました。  
また自然尿かカテーテル尿かを念頭において鏡顕する事が重要です。
- 尿沈渣を鏡顕時で最も大切なことは、色々な副所見を参考にすることと思われまます。  
定性結果は特に重要で、また年齢、性別、臨床診断も重要であると考えます。
- また一般検査研究班としても今後、鏡顕実習、症例検討会等開催し（尿、体腔液検査、髄液検査など）多数の方へ参加していただきレベルアップを図りたいと考えます。